

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 池田高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年2月5日(水) 13:30~15:30
- 3 開催場所 池田高等学校視聴覚室
開催にあたり、2年次生「総合的な探究の時間」(『池田 de 探究』)の探究成果発表会(代表者発表)への委員の参観を実施した。
- 4 参加者

会 長	小林 月子	サンビレッジ国際医療福祉専門学校名誉校長
副 会 長	西川 昭	育友会長
委 員	高橋 利行	池田町教育長
	宇野 秀宣	神戸町教育長
	河村 茂雄	池田町立池田中学校長
	岡田 勝彦	神戸町立神戸中学校長
	國枝 正義	池田町上田区長
	高橋あゆみ	神戸町立北小学校読み聞かせボランティア 神戸町立図書館運営協議会委員
	野原 昭弥	地域商工会代表(欠席)
	安田 正博	県青少年健全育成指導員
学 校 側	鈴木 彰	校長
	栞原 利樹	教頭
	田村由美佳	事務長
	吉田 一臣	教務主任
	古山 克幸	進路指導主事
	三輪 智子	生徒指導主事

5 会議の概要(協議事項)

○「令和6年度 自己評価・学校関係者評価」について

意見1: 探究活動を本当に一生懸命やっており、生徒にも定着しているのは立派だ。一方、先生方の負担にならないようお願いしたい。負担になると続かないと思うので、先生方の負担を軽減することを工夫してほしい。また6つのコースに分かれるが、コース別の授業は変に教え込むのではなく、探究活動のような形態を教育課程上広げていくのがよいのではないかと思う。

意見2: 学習・進路指導で、オンライン学習サービスを活用しているとのことだが、生徒が何を勉強すればいいのかわかるようになるので、非常に適していると思う。

意見3: 2年次生の意識調査で、「この学校に入学して満足している」という生徒が90%を超えているのはすごいことで、この学校で本当によかったという表れだ。また「家の人に学校での出来事を話しますか」という問いに対して「話せる」という生徒が8割を超

えているのも素晴らしい。

- 意見4：探究学習についてはぜひ継続的に行い、ビジネスモデルなどにできると非常に面白いと思った。こういう生徒たちがビジネスマンになった時、素晴らしい人材がこの池田町から出てくるかなと感じた。
- 意見5：意識調査の結果が、スクール・ミッションにつながってきている。「地域に根ざした」という点で、約半数の子が将来的にまた岐阜に戻ってきて働きたいとか、どの地域で就職したいかという項目でこの地域をすごく意識してくれていることが、数字に表れている。探究発表で、アンケート結果から地域住民は「ゆるくつながりたいと思っている」という言葉が大変印象的だった。今の若者は、友人でも職場でも密接にではなくゆるくつながりたいと言う。それでもやはり地元に戻ってこようと思ってくれているのだなと思った。
- 意見6：生徒指導の心のアンケート結果から、不調を感じている生徒が減っているのは、自分の居場所があるということを生徒たちがすごく感じているからだと思う。学校がそうした場所を様々に提供しているのだろう。学習・進路面でもきめ細やかで個に応じた指導がなされていると感じた。
- 意見7：探究成果の発表では、高校生レベルというより大学生、あるいは社会人のようなことを、統計や数字、調査を用いて行っていることが見てとれた。探究過程で先生方から助言はあるのか。
- ⇒ある。アドバイザーがついて支援することもあるが、助言等を踏まえて生徒たちなりに考えて発表しているので、どちらかというルールを敷くというイメージだ。助言をすると予想以上にすごく伸びてくれる。
- 意見8：身だしなみの乱れが心の乱れというか、そうしたきっかけの信号として見えていたりする。身だしなみへの生徒の意識をいっそう高めてほしい。
- 意見9：先生方のきめ細かな指導が池田高校の教育活動の根底にあって、素直な生徒たちが育っている。ちなみに探究発表会で、あるチームの語り口が素晴らしくて圧倒された。
- 意見10：自己評価・学校関係者評価報告書を見て、目標と評価の窓が明確で絞り込まれていると感じた。だからこそ池田高校の学校カラーが非常にはっきりと見えてきた気がする。ただ、このように学校運営協議会に参加したから伝わってくる面もある。地域や一般の方、また生徒たちや中学生たちにも何らかの形で伝わると、このように地元にあるいい高校を選択する中学生ももっと増えてくるのではないかな。
- 意見11：着実に地域の探究学習が計画から実践の段階に入ってきて、しかもそれがかなり実を結んでいるということが直接伝わってきた。来年度もこうした形をさらに進め、県に池田高校ありということを知らしめてほしい。本日の発表を聴いて感じたことは、生徒が借り物の言葉ではなく自分自身の言葉で述べていることだ。伝えたい内容を自分の言葉で述べられることはとても大事だと思う。しかも自分で調べエビデンスを明らかにし、先生と相談し、地域の大人と実際に話すなどして、ことを進めることができている。本来的な探究の学習が実際に行われていると思われる。ぜひ来年度も継続して行ってほしい。協力できることがあれば是非一緒にやらせていただきたい。

6 会議のまとめ

今回は協議前に、委員の皆様による全校参加の探究成果発表会（コース代表者発表）への参観、また質疑応答を行ったことにより、本校の探究的な学びの現状を実際に知っていただくことができた。委員の皆様からは本校が進めている教育活動やその方針について大いに理解・賛同をいただき、活発な協議を通じていっそうの支援を得ることができたのは、大変心強くありがたいことである。また同様に本校の「スクール・ミッション」についても、前向きな意見交流を経て全員一致でまとめ、本校の在り方への共通認識をいっそう深めることができたこと

もまた大きな成果であった。今回のこの成果を糧に、次年度の学校運営を推し進めていきたい。